

2024 年 JAWRO 企画講演座長報告

千葉大学大学院医学研究院 画像診断・放射線腫瘍学 渡辺未歩

このたび、第 37 回日本放射線腫瘍学会学術大会におきまして、JAWRO 企画講演を開催いたしました。今回、私とともに市立四日市病院放射線科副部長の佐貫直子先生に座長を務めていただきましたので、ご報告申し上げます。

本年の講演では、「放射線治療医を取り巻くハラスメント問題」をテーマに、弁護士の本郷真弓先生と大東文化大学の松原孝明先生をお招きいたしました。

本郷真弓先生には、インフラ業界や大手総合商社におけるコンプライアンス業務や、数多くのハラスメント問題への対応経験を踏まえ、基本的な内容をわかりやすく解説していただきました。さらに、JAWRO 会員アンケートの結果をもとに、医療現場での具体例を交えながら詳細にご説明くださいました。本郷先生のご講演は、理論と実務の双方を兼ね備えた内容であり、参加者にとってハラスメント対策の基礎を改めて理解する貴重な機会となりました。

一方、松原孝明先生には、大東文化大学にてハラスメント等問題調整委員会委員長としてのご経験を基に、近年増加しているグレーゾーン事例について、示唆に富むお話をいただきました。松原先生のご講演は、判例を引用しつつ、実務に裏打ちされた内容であり、参加者にとって非常に有益であったと感じております。

両先生のご講演は、参加者の日頃の悩みに寄り添ったもので、非常に高い関心が寄せられていました。講演終了後には活発な質疑応答が行われ、ハラスメント対策への意識の高さが改めて感じられる場面となりました。

ご多忙の中、貴重なご講演を引き受けてくださった本郷先生、松原先生に心より感謝申し上げます。また、第 37 回日本放射線腫瘍学会学術大会長ならびに大会関係者の皆様、企画の実現にご尽力いただいた JAWRO の皆様、そしてご参加いただいたすべての皆様に深く御礼申し上げます。